

TAMIYA R/C SYSTEMS

タミヤRCシステム タミヤブラシレス ESC 04SR センサー付

TBLE-04SR

TAMIYA BRUSHLESS ELECTRONIC SPEED CONTROLLER 04SR (SENSORED)

このたびはタミヤブラシレスESC04SRセンサー付 (TBLE-04SR)をお買い上げいただきありがとうございます。TBLE-04SRは電動RCカー用に開発されたTBLMシリーズおよび23T以上のブラシモーターを制御できるスピードコントローラーです。ご使用前にこの説明書をよくお読みください。また本製品を安全にお使いいただくため、注意事項等は必ず守ってください。誤った使用での事故や故障は補償の対象外となります。

★ご使用前には《1.ハイポイント設定》を参照の上、お使いの送信機にあわせてハイポイントを必ず設定してください。
★デジタルサーボ等1.5Aを超える電流のサーボを使うとESCが故障することがあります。



取扱説明書

《出荷時の設定》
ニュートラルブレーキ設定: 制動力 2 (5%)
ブレーキ設定: 制動力 10 (100%)
バック設定: ON
バッテリーカットオフ設定: Lo
モーター設定: ブラシレスモード

《TBLE-04SRスペック》
ESCタイプ: 前進/バック/ブレーキ
連続最大電流: 75A 使用電源電圧: 6.6~7.2V
出力: 前進100% 後進50%
寸法: 41.5×33.4×27mm 重量: 56g
対応モーター: TBLMセンサー付シリーズ、23T (巻数) 以上のタミヤ製ブラシモーター
受信機用BEC出力: 6W/1.5A

警告

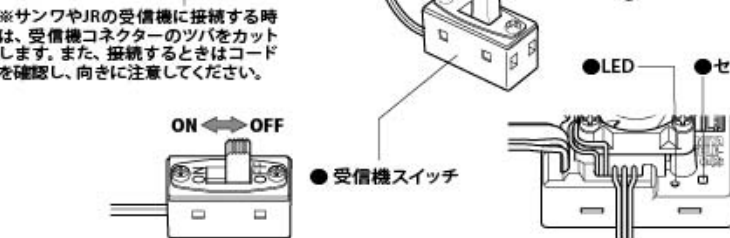
以下の点に十分注意してください。故障の原因や保証の対象外となる恐れがあります。これらを守らないと、身の回り品の破損や、他人を傷つけたり、大怪我を負うことがあります。
●本製品は地上用RCモデルを対象に製造されています。他の用途には使用しないでください。
●受信機にESCとサーボのコネクターを確実に取り付けてください。走行中の振動でコネクターが抜けるとモデルが暴走することがあります。
●雷の鳴っている時は走行させないでください。落雷の危険があります。
●雨天や水たまりのあるところは走行させないでください。機器に水が入り暴走することがあります。
●浜辺などの塩水のかかる場所では使用しないでください。
●走行しない時はバッテリーを外してください。誤ってスイッチが入った場合にモデルが暴走したり、火災の原因になることがあります。
●送信機、バッテリー、モデル等は幼児の手の届かない場所に保管してください。ケガ、やけど、誤飲による中等等の危険性があります。

注意

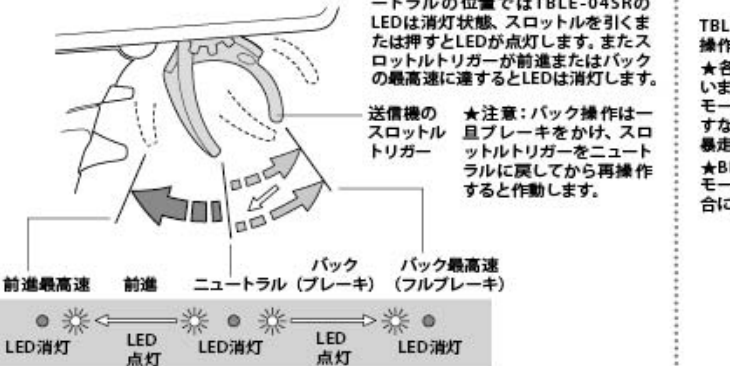
○走行用のバッテリー、モーターの極性を間違えないように接続してください。ESCや受信機等の機器が破損します。
○連続走行は避けてください。バッテリーコネクターが溶けることがあります。また走行後のモーター、ESCなど熱くなっているところは触れないでください。ヤケドをする事があります。
○バッテリーコード、モーターコード等の各コード類をショートさせないでください。RCメカやモデルが破損します。
○本製品には精密な電子部品が使われています。強い衝撃を与えたり、内部に水が入ったり、湿気を帯びると故障の原因となります。
○分解、改造はしないでください。また、指定のバッテリー、モーター以外は使用しないでください。RCメカの破損の原因となります。
○道路や人の多い場所ではRCモデルの走行をしないでください。
○ブラシレスモードでブラシモーターを接続しないでください。またブラシモードでブラシレスモーターを接続しないでください。ESCが破損する恐れがあります。

《各部名称》

★必ず送信機の電源を入れた後に受信機スイッチを入れてください。電源を切るときは受信機スイッチを切ったあとに送信機の電源を切ってください。順序を逆にすると、受信機がノイズを拾いモデルが暴走して思わぬ事故の原因になります。



《スロットル操作とLED》



《各種設定方法》

TBLE-04SRには2通りの設定操作があります。
★各配線後各種設定を行います。車体を台に載せる、モーターのピニオンギヤを外すなどして振動作での車体の暴走を防いでください。
★BEEP音 (確認、警告音) はモーターが接続されている場合に鳴ります。

A. 送受信機スイッチONの状態ですべてボタンを押して行う設定
●LEDは赤→緑→橙→赤…と順番に点灯を繰り返します。
LED: 赤に点灯 → セットボタンを離してハイポイント設定
LED: 緑に点灯 → セットボタンを離してニュートラルブレーキ設定
LED: 橙に点灯 → セットボタンを離してブレーキ設定

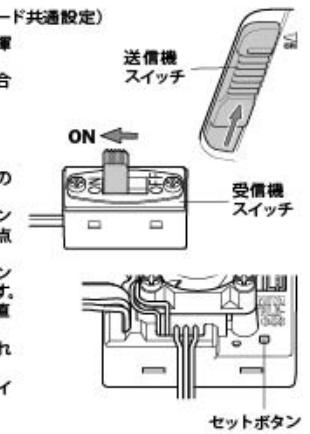
B. 送受信機スイッチONの状態ですべてボタンを押したまま受信機スイッチONして行う設定
LED: 赤に点灯 → セットボタンを離してバック設定
LED: 緑に点灯 → セットボタンを離してバッテリーカットオフ設定
LED: 橙に点灯 → セットボタンを離してモーター設定

A. 送受信機スイッチONの状態ですべてボタンを押して行う設定

★無信号状態 (送信機スイッチOFFまたは受信機コネクタが外れた状態)、センサーエラー状態では設定できません。(無信号、センサーエラーの確認は《LEDの点灯パターン》を参照してください。)

《1.ハイポイント設定》(ブラシレスモード・ブラシモード共通設定)

送信機の信号を読み取りモーターの性能を最大限に発揮するために必ず最初に設定してください。
★送信機にABS機能やアクセラレーション機能がある場合は必ずOFFにしてください。
①送信機の電源をONして、受信機スイッチをONします。
②セットボタンを押したまま、LEDの点灯を確認します。LEDは赤→緑→橙→赤…と順番に点灯を繰り返します。LEDが赤に点灯した時にセットボタンを離すと、LEDが赤の点滅になります。
③スロットルトリガーを前進最高速位置にしてセットボタンを押します。信号の読み込みが成功するとLEDが赤2回点滅に変化します。
④スロットルトリガーを後進最高速位置にしてセットボタンをもう一度押します。読み込みが成功するとLEDが消灯します。
★各ボタンを単独で設定することはできません。やり直す場合は①から再設定してください。
★設定途中で電源OFFした場合、設定ポイントは保存されません。前回のデータのままになります。
★送信機のスロットル設定を変更した場合は再度ハイポイント設定を行ってください。暴走する場合があります。



《2.ニュートラルブレーキ設定》(ブラシレスモード専用設定)

スロットルトリガーをニュートラルにしたときのブレーキの効き具合を設定します。走行しながらフィーリングを確認し、操作しやすいように設定してください。ブラシモード時は設定できません。
①送信機の電源をONして、受信機スイッチをONします。
②セットボタンを押したまま、LEDの点灯を確認します。LEDが緑に点灯しているときにセットボタンを離してください。LEDが緑の点滅になります。点滅の回数はブレーキの制動力を表します。下表を参照してください。
③セットボタンを押すたびに設定値が1つ上がります。(設定値10の次は設定値1に戻ります。)
④設定が決まったらセットボタンを長押しして、LEDが緑点灯になったらセットボタンを離してください。設定は完了です。

点滅回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
制動力%	0	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%

※初期設定: 点滅回数2 制動力5%

《3.ブレーキ設定》(ブラシレスモード専用設定)

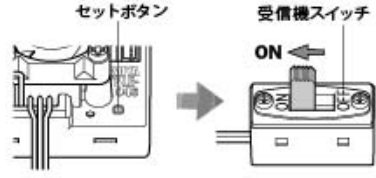
ブレーキをかけたときのブレーキの効き具合を設定します。走行しながらフィーリングを確認し、操作しやすいように設定してください。ブラシモード時は設定できません。
①送信機の電源をONして、受信機スイッチをONします。
②セットボタンを押したまま、LEDの点灯を確認します。LEDが橙に点灯しているときにセットボタンを離してください。LEDが橙の点滅になります。点滅の回数はブレーキの制動力を表します。下表を参照してください。
③セットボタンを押すたびに設定値が1つ上がります。(設定値10の次は設定値1に戻ります。)
④設定が決まったらセットボタンを長押しして、LEDが橙点灯になったらセットボタンを離してください。設定は完了です。

点滅回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
制動力%	55%	60%	65%	70%	75%	80%	85%	90%	95%	100%

※初期設定: 点滅回数10 制動力100%

B. 送信機スイッチをONの状態ですべてボタンを押したまま受信機スイッチをONして行う設定

バック走行の可否を設定できます。バック走行禁止レースなどで設定してください。
①セットボタンを押したまま、受信機スイッチをONにします。



《メカを守るための2つの機能》

TBLE-04SRにはESCを保護するため2つの保護機能を備えています。
温度保護機能: 連続走行や高負荷条件での走行によりESCが異常発熱すると、モーターを停止して換温を防ぎます。しばらく休ませてESCの温度が下がれば自動復帰します。
過電流保護機能: モーターのショートやロックなどにより、過電流がESCに流れた際に、自動的にモーターを停止します。自動復帰はしませんので故障箇所を点検修理してから送信機スイッチ、受信機スイッチを入れなおしてください。

万一不良部品、不足部品などありました場合には、当社カスタマーサービスまでご連絡ください。

《トラブルチェック》★おかしい?と思ったらときは修理に出すまえに、下の表を参考にトラブルチェックを行ってください。

症状	LED	原因・対策
モーターが回らない	赤、緑の交互点灯	ブラシレスモードでセンサーコードが接続されていません。接続してください。断線している場合は交換してください。ブラシモードでブラシレスモーターとセンサーケーブルが接続されています。ブラシレスモーターがロック状態で動かかない状態になっています。
	赤の速い点滅	温度保護が働いています。ESCの温度が下がれば復帰します。頻りに温度保護がかかる場合はギヤ比やESCのクーリング、モデルの回転部分ガスムーズに動いているか確認してください。
	赤の速い点滅	過電流保護機能が作動しています。電源を切り、コードのショートやモーターのロック等の原因を取り除いてください。
	赤の点滅	バッテリーカットオフ機能が作動しています。バッテリーを充電してください。
	緑または橙の点滅	送信機の信号が入力されていません。送信機の電源、受信機とESCの接続、バンド、ベアリングなどを確認してください。
LEDは正常	モーターの配線が外れているか、モーターに異常があります。確認してください。	
操作と違う動きをする	LEDは正常	ハイポイント設定のミス、またはハイポイント設定後に送信機の設定が変更されている可能性があります。また送信機を変えた場合はハイポイント設定をやり直してください。
バックしない	LEDは正常	ハイポイント設定のミス、またはハイポイント設定後に送信機の設定が変更されている可能性があります。また送信機を変えた場合はハイポイント設定をやり直してください。バック設定がOFFになっていないか確認してください。
ファンが回らない	LEDは正常	カスタマーサービスにお問い合わせください。